

まよせ

電話番号 042-492-5111 (市役所代表)
 ※市役所にお電話をいただく場合には、市外局番(042)からおかけくださいますようお願いいたします。

ファクス 042-492-2415

電子メール kouhou@city.kiyose.lg.jp

ホームページ http://www.city.kiyose.lg.jp/

携帯サイト http://www.city.kiyose.lg.jp/m/index.htm

平成27年度の所信表明(要旨)

「安全・安心で活気あるまちに」「健康寿命」を延ばす健康増進策を充実、認可保育園の定員数を189人増員(平成25年度比)



3月2日に開会した清瀬市議会第1回定例会の冒頭で、渋谷金太郎市長が、平成27年度の基本的な市政の運営方針や主要事業についての考え方を表明しましたので、その要旨をお知らせします。

なお、所信表明の全文は市ホームページに掲載しています。

私は、4年前に、星野前市長の後を受け、市長選挙に立候補し、市民の皆さんから信任を受けて当選して以来、さまざまな場所に自ら出向いて、これまで気が付かなかった清瀬の魅力を見出し、その魅力に光を当て、また、多くの方々との絆を深め、それら結び付けることで新たな物語を作り出してきました。そうした物語が、

「手をつなぎ 心をつむぐ みどりの清瀬」の形となって表れてきていると実感しています。

今後も、夢と希望に満ちた魅力ある清瀬の物語に、更に歴史や文化、良好な環境や自然景観を守るなど磨きをかけ、自分たちのまちは自分たちがつくり出す自治精神のある、まちの「都市格」を高めてまいりたいと考えております。

機具の購入や施設の改修などを支援する地域農業者支援事業を継続して行います。また、新たに都市農地保全支援プロジェクトとして、防災兼用の井戸の整備に助成を行います。

非常に大きなものになると期待しております。

その他、内山運動公園サッカー場2面の人工芝の張り替えと夜間照明の増設、下宿第三運動公園サッカー場に夜間照明を設置することで、多摩地域最大のサッカー場設備が整います。近隣の新座市にある十文字学園女子大学にもサッカー場が整備されたことから、今後、十文字学園女子大学とも協力関係を結び、サッカーの大きな大会も開催できるのではないかと考えております。

商工業の活性化では、国の補正予算で示された、生活緊急支援のための交付金を活用し、プレミアム付き商品券を30割のプレミアムを付けて、合計3億9千万円分発行します。また、ニンニクスタンプ事業も合わせて行うことで相乗効果も期待でき、その経済効果は

から介護予防を図っていたため、カラオケを活用し、音楽に合わせて体操や口腔機能、脳トレを行う「脳トレ元気塾」を新たに実施する他、平成26年度から始めた「読み書き・計算とコミュニケーション」及び「軽体操」を組み合わせた「脳力アップ塾」が大変好評なことから、会場を1か所から3か所に拡充して行います。

① 安全・安心で活気あるまちづくり

東日本大震災から4年が経過し、震災の記憶が薄れつつありますが、災害はいつ起こるか分かりません。市民の皆さんが安全で安心して暮らせるよう、災害対策に万全を期すことが、私がこの4年間進めてきたまちづくりの最優先課題であります。そうしたなかで、平成27年度は、引き続き、災害対策用備蓄食糧や資機材を計画的に整備する他、災害時に最前線で活

動する消防団員の防火衣など装備品の充実を図ります。また、防災行政無線の放送が聞こえづらいという声があることから、放送内容を電話で確認することができるようシステムを導入します。

農業では、意欲的な農業者を支援し、品質の高い作物を供給するため、東京都の都市農業経営パワープアップ事業を活用した、パイプハウスの設置などに助成を行う他、農

② 「健康」で生きがいの持てるまちづくり

いつまでも、健康で、幸せに暮らすことは、誰もが願うべきことです。「健康寿命」を延ばし、生きがいを持って暮らせるよう、健康増進策には特に力を入れたいと考えております。

一方、高齢化率が高くなり、さまざまな相談なども増えていることから、地域包括ケアシステムの構築に向け、地域包括支援センターを1か所増やし、市直営を含め4か所にします。また、健康福祉部に地域包括ケア推進課を設置して推進体制の強化を図ります。

平成27年度は、各種がん検診無料化をこれまでの65歳以上から60歳以上の方に対象を広げる他、しっかりと咀嚼できることが健康の基本であることから、40・50・60・70歳の方を対象に成人歯科健診を新たに実施します。また、若いうちから健康づくりに興味を持つ、生活習慣の改善を図っていたら、アラサーからの健康づくりや「ママがもっときれいな講座」などを行います。

高齢者の皆さんには、楽しみな

③ 子育てが楽しいまちづくり

市内にある子育て支援のNPOの皆さんの活発な活動もあり、「清瀬市は子育てしやすいまち」と評価をいただけるようになってきました。人口減少社会を迎えるなか、子育て支援の充実が活気あるまちづくりのためにも欠かせない施策であります。更に「子育てが楽しい清瀬」を目指していきたいと考えております。

他、インフルエンザの予防接種1回に付き2千円の助成を、第3子以降から第2子以降に拡充します。更に、0・1・2歳児を対象に、市が行う子育て関連事業に使える6千円分のクーポン券を交付する「子育てクーポン事業」を新たに実施し、子育て家庭の経済的負担を軽減するとともに、さまざまな子育て支援事業を知っていたら機会にしたいと考えております。

保育園の待機児童解消に向け、平成26年度に私立保育園の新設や建て替えなどを行ってまいりましたが、平成27年度も更に松山地区に新たな私立乳児保育園を整備します。これにより、認可保育園の定員数は平成25年度に比べ189人の増員を図ります。

また、私立幼稚園への就園奨励として、住民税非課税世帯への補助額を月額6千100円引き上げる

あなたが狙われています！

ひったくりや振り込め詐欺などにご注意を

最近、市内においてひったくり事件や振り込め詐欺(オレオレ詐欺)などの事件・被害が多発しています。

不審な人物を見かけたり、不審な電話がありましたら、すぐに警察に連絡してください。

◆ひったくり被害に遭わないための3つのポイント

- ①カバンなどは建物側に持つ
- ②自転車のカゴに、ひったくり防止ネットやカバーをつける
- ③後ろからバイクが接近する音が聞こえたら、振り向いて確認する

◆振り込め詐欺などの被害に遭わないために

息子などをかたる者から「電話番号が変わった」「会社の携帯からかけている」などの電話があった場合は、必ず変更前の電話番号にかけ直して確認してください。また、日ごろから家族と連絡を取り合しましょう。

問合せ 防災防犯課防犯係 ☎ 497・1848、東村山警察署 ☎ 042・393・0110 (還付金詐欺については保険年金課国保係 ☎ 497・2048、同課高齢者保険係 ☎ 497・2050、消費生活センター ☎ 495・6212 でも受け付け)